

基金を活用して実施した助成事業の紹介

■ 協働助成事業(テーマ希望型)

山形県都市整備協会様からの寄付による

〔やまがたまちづくり活動支援事業〕

1 山形市料亭街シンポジウム 一老舗料亭を核とした山形市料亭街界隈の魅力ー

事業実施団体 山形歴史たてももの研究会 (山形市)

事業内容

当団体では、山形市七日町料亭街の魅力が県内外に発信するため、「城下町やまがた七日町料亭街シンポジウムー老舗料亭を核とした山形市七日町料亭街界隈の魅力ー」を平成26年8月24日に開催しました。



第1部では七日町料亭街と関わりのある新潟市より新潟大学の岡崎篤行教授をお招きし、花街の価値や魅力に関する基調講演をいただきました。またトークセッションでは、山形芸妓組合組合長のほか、新潟市の老舗料亭当主などにも参加していただき、七日町料亭街の以前の様子や新潟市でのまちづくりの話などを伺いました。さらに、第2部では実際に料亭街を歩き、第3部ではお座敷体験を行いました。シンポジウムには京都や東京等遠方からの参加者もあり、料亭街に対する関心の高さが伺えました。今後も、七日町料亭街の特色を発信していく予定です。

2 まちづくり活性化事業

事業実施団体 ながいアートプロジェクト実行委員会 (まちづくり美術館) (長井市)

事業内容

長井市大町周辺を舞台に、町の文化的景観をめぐりながら作品を鑑賞する事業を行いました。

作品の展示会場は、そこに古くからある旧郡役所や商店、酒蔵など7施設。

そして、その施設を切り盛りする人たちが、平成26年8月20日から9月7日までの期間中、訪れる人たちを迎えてくれました。そこで生まれる様々な“出会い”を通して、見る人や参加してくれる人たちが、ささやかでも、気づきやあたたかな気持ちになっていただけたらという思いで活動しました。

今年はワークショップも同時開催し、見るだけでなく、触れて感じる五感を使うような“美術館”にも挑戦しました。

また、地元鉄道や一般企業の協力は、力強いバックアップになりました。



施設紹介 〔人を活かす交流まちづくり施設整備支援事業〕

旧安部家の塀を修理し、 歴史的景観を復原する事業

事業実施団体：安部権内家を保存する会(河北町)

村山地方を代表する豪農「旧安部家」は、平成26年4月に国の登録文化財に登録されましたが、屋敷を囲む塀の傷みが激しく、貴重な景観を損なっている状態でした。そこで、塀を修理・復原するとともに、屋敷入口に登録文化財を示す案内板を設置しました。



この取り組みにより、地域住民をはじめ県民の関心が一層高まり、歴史的な建造物の保存活動に弾みがつくことが期待できます。

東北自然歩道「やまでら天台のみち」 散策歩道整備、遺跡発掘案内板設置事業

事業実施団体：山寺門前町商店会(山形市)

「やまでら天台のみち」は、平成8年に山寺開山の伝承と遺跡を歩いて体験できるコースとして整備され、観光客や団体等に活用されてきました。しかし、歩道は荒れ、木道は朽ち、安全面に不安が生じるようになりました。そこで、板敷の整備や丸太柵の設置、石積の修繕を行い、安全なトレッキングコースを完成させました。

また、平成21年の発掘調査により遺跡が発見され、その歴史的・文化的価値が改めて確認されましたので、遺跡案内板を新たに設置しました。このことにより、山寺地区の観光振興、郷土理解の促進に大きく貢献することができました。



■ 協働助成事業(一般型)

1 ロコモ予防運動の推進による住民参加型介護予防活動の実施事業 (県政課題部門：ロコモティブシンドロームの普及啓発を通じた高齢者の介護予防の推進)

事業実施団体 (特活) 元気王国 (酒田市)

事業内容



酒田市中心商店街に拠点を置く当法人の立地を生かし、通年で、中高年の方々を対象としたロコモ予防教室を開催しています。

加えて、酒田地区を中心とした周辺地域のコミュニティセンターを会場に、酒田市や地域包括支援センター等との協働により、4地区でロコモ予防事業を実施しています。

ロコモ予防事業では、ロコモ体操を中心とした運動指導に加え、筋力の維持を目的としたたんぱく質を摂取するための料理レシピや、自宅で継続的にロコモ予防に取り組んでいただくために、「山形県ロコモ予防キャンペーンDVD」の配布も行っています。

この事業を通して、まずはロコモティブシンドロームへの理解と知識を身につけていただき、その予防に自分から楽しんで継続的に取り組んでいただけるよう工夫しながら事業を進めています。



2 新潟地震50年・京田小学校と地域住民が防災を考える (県政課題部門：災害時に役立つ子どもや地域住民の体験・訓練の実施)

事業実施団体 (特活) 鶴岡災害ボランティアネットワーク(鶴岡市)

事業内容

昭和39年6月16日、新潟地震が発生しました。この地震により庄内地域で唯一犠牲者が出たのは鶴岡市京田地区です。幼児3名が地震で亡くなりました。

新潟地震から50年目となる平成26年6月16日、鶴岡市京田地区にて、京田保育園・京田小学校・地域の人たちと一緒に防災訓練を行いました。

午前には、子どもたちを中心に150名の参加者で段ボールトイレづくりや炊



き出し訓練などを行い、午後からは供養と研修会を行いました。鶴岡市内全域から70人を超える参加者の皆さんと、「平時の備え」と「非常時の備え」をテーマに防災を考えるワークショップに取り組み、防災の意識が高まった1日となりました。

さらに、8月30日にはこの取り組みの報告会を開催しました。今後、報告書として取りまとめ、各地にこのような取り組みが広がるよう、普及に取り組んでいきたいと考えています。

